

第7回
杵島地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成28年7月27日
佐賀県教育委員会

目次

頁

資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第6回新高校設置準備委員会報告まとめ	1
資料 2	杵島地区新高校校内検討委員会の検討状況(7月現在)	
	1 教育目標	4
	2 校務分掌	5
	3 各種委員会	7
	4 部活動	8
	5 教育課程	9
	6 学校行事	10
	7 その他	11
	8 校内検討スケジュール	12
資料 3	校名募集状況	17
資料 4	新高校設置準備委員会設置要領	25
資料 5	杵島地区新高校設置に向けた検討体制	27
資料 6	杵島地区新高校設置準備委員会委員構成	28

資料 1

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）

第 6 回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成 28 年 5 月 16 日（月） 15 時～16 時 30 分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 10 人 県教育委員会関係委員 8 人
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成 28 年 5 月 18 日（水） 10 時～11 時 15 分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 11 人 県教育委員会関係委員 8 人
伊万里地区（第 5 回） ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成 28 年 5 月 20 日（金） 10 時～11 時 30 分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4 人 地域関係委員 7 人 県教育委員会関係委員 8 人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成 28 年 5 月 30 日（月） 10 時 30 分～12 時 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 10 人 県教育委員会関係委員 8 人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成 28 年 5 月 31 日（火） 15 時 00 分～16 時 10 分 巖木高校 同窓会館	学校関係委員 3 人 地域関係委員 5 人 県教育委員会関係委員 9 人

伊万里地区については第 5 回設置準備委員会。

2 主な意見等

地区	主な意見等
鹿島地区	<p>生徒配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちや OB にとっては、鹿島高校と鹿島実業高校は昔から姉妹校という意識があり、一つ屋根の下で学ぶということでの一体感に拘る必要はないのではないか。 ・ 校名・校歌等を統一することで、学校の一体感の醸成は十分可能ではないか。 ・ 平成 30 年度からの急激な体制の変化に対する職員の不安も大きいため、再編当初は現状の生徒配置とし、生徒・職員ともに少しずつ一体感を高めながら、平成 32 年度以降の生徒配置については少し時間をかけて検討を行っていきたい。 <p>（事務局案＜普通科を鹿島校舎、専門学科を鹿島実業校舎に配置＞のとおり承認）</p> <p>教育課程・校時について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位数（授業時間数）や校時が両校舎で揃っていなければ、部活動の開始時間がずれるので、その点についても、今後の検討課題として欲しい。

地区	主な意見等
	<p>校名・校歌・制服等の検討方法について</p> <p>校名検討方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人の意見だけではなく、子どもたちの意見も反映される場面もあっていいのではないか。 ・ 設置準備委員会の委員の意見を取り入れるなら、一旦公募をして、その中から選ぶという方法が良い。 <p>(校名検討方法は「公募」とすることで委員了承)</p> <p>(「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認)</p> <p>校歌・校章・制服等の検討について</p> <p>(校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承)</p>
杵島地区	<p>校名・校歌・制服等の検討方法について</p> <p>校名検討方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透明性や公平性、アピール性、全国的な流れ等を考えて、公募でよいと思う。 ・ 新高校ができるという認知が得られ、地域全体の方が一緒に新高校のことを考えるという意味では、公募の方がよい。 <p>(校名検討方法は「公募」とすることで委員了承)</p> <p>(「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認)</p> <p>校歌・校章・制服等の検討について</p> <p>(校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承)</p>
伊万里地区	<p>新高校の学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学科の検討については、お互いの学校同士で綱引きをするのではなく、PTA、同窓会、先生方で、どの学科やコースがいいのかを議論させて頂きたい。その際は、農業と商業の融合学科も検討しなければならないと思う。 ・ 現在、農業と商業の融合学科の要請度は高いと思う。5学級規模の教員数で6学級の運営をすることはかなり難しいだろう。 <p>新高校の校地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開校まで残りあと3年で、校舎、実習地等を整備するのは時間的に厳しい。今の施設を使いながら、平成31年は校舎制で開校としないと、準備が伴わない。 ・ 普通教科の担当教員の移動については、移動をしなくて済むようにカリキュラムを調整すればよい。

地区	主な意見等
嬉野地区	<p>平成30年度（開校時）の学級、学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開校時の学科が1年間で変わるよりも、開校時から新しい形でのスタートであるという方が子供たちにも分かりやすい。 <p>（塩田校舎...機械科、電気科、建築科 各40人 計120人3学級 嬉野校舎...3系列（情報ビジネス系列、観光・流通系列、社会福祉系列） 計80人2学級で委員了承）</p> <p>新高校の校名の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな所から公募した方が中立性があると思う。多くの人が関心を持つ意味でもいいのではと思う。 ・ 校名を募集する時には、名前を挙げた理由というのを付けるようにした方が良い。 <p>（校名検討方法は「公募」とすることで委員了承） （「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認）</p> <p>新高校の新校章、新校歌、新制服の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制服に関連して、保護者からは県立高校も入学時にまとまったお金がかかるという話をよく聞く。現状よりもあまり高くないような金額にしてほしい。 <p>（校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承）</p>
唐津地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中途の進路変更を考慮して、1年次に必履修科目を履修させたいので、数学と英語については、基礎科目を履修した後、必履修科目である数学、コミュニケーション英語を履修できるようにしたい。 <p>校名・校歌・制服等の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校名を変える必要はない。伝統は守っていくべきである。 ・ 校章については、デザインはもう少しと思うが、変える必要はない。 ・ 制服については、先生方の指導のしやすい方向で何かあれば検討しても良いが、特に保護者の方からの意見はない。 <p>（校名、校歌、校章については、現行通りとすることで委員了承）</p>

杵島地区新高校校内検討委員会の検討状況（7月現在）

1 教育目標

【杵島地区新高校のめざす学校像】

- ① 夢を育み、夢の実現に邁進する学校
- ② 知・徳・体の調和のとれた、健全な人格の形成をめざす学校
- ③ 地域に愛され、信頼される学校
- ④ グローバル化に対応できる力を養成する学校

【検討の進め方】

- ・ 新高校の「めざす学校像」を踏まえた学校教育目標
- ・ 現在の両校の学校教育目標については、それぞれの学科の指針にする。
- ・ 校訓については、生徒募集も。

杵島地区新高校の教育目標

杵島地区新高校 校訓

学校教育目標

生徒一人一人の個性と資質を伸ばし、今後、さらに複雑化することが見込まれる社会の発展に貢献できる、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健全な人材を育成する。

そのため、質の高い授業実践とともに生徒会活動や部活動の振興を図り、活力と品格ある校風を醸成し、地域から信頼される学校づくりに努める。

目標達成のための学校経営ビジョン

【基本方針】学科の強みを活かす。

- ・ 普通科：幅広い知識を身につけ、深く思考し、総合的な判断力を持った人材の育成を目指す。
- ・ 商業科：ビジネス教育を通して、地域社会で貢献できる人材の育成を目指す。

普通科

学科訓「清明・自律・創造」

- 知識基盤社会に対応できる思考力、判断力、表現力の育成
→ 伸ばす教育、伸びる教育
- キャリア教育の推進
→ 充実した進路ガイダンス
- グローバル社会へ対応できる共感力、自己コントロール力の育成
→ 校内外での体験を通じた自己理解、他者理解

商業科

学科訓「信 愛 熱」

- わかる授業と自ら学ぶ姿勢で学力向上を目指す。
- 体系的なキャリア教育を通して自ら考え、行動できる人材を育成する。
- 地域と連携した活動を通して「郷土」を愛し、「ひと」を愛する心を育てる。

2 校務分掌

【検討の進め方】

まず4つの分掌(教務、生徒指導、進路指導、保健指導)で校務を整理し、必要に応じて校務分掌を増やす。

杵島地区新高校	現高校	
	白石高校	杵島商業高校
教務	教務 <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動 ・企画・庶務 ・カリキュラム・時間割 ・日報・板書 ・教科書・副教材・消耗品 ・学校行事 ・奨学金・保護者納入金 ・出欠統計・授業時間調査・成績処理 ・PTA・購買部 ・ICT・SEI-Net 	教務 <ul style="list-style-type: none"> ・行事・日課 ・教科書・副教材・一括徴収 ・奨学金 ・時間割・教育課程 ・特別活動 ・研修全般 ・人権・同和教育 ・読書指導 ・視聴覚・マルチメディア ・各種調査・小テスト集計 ・成績処理・出欠統計 ・表彰・印刷 ・SEI-Net ・PTA
	図書 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営 ・蔵書管理・購入 ・広報 ・読書指導 ・資料収集 ・図書館利用指導 ・視聴覚教室 ・コラムサービス活用 ・事務一般 	
生徒指導	生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> 【生徒指導】 ・生活指導 ・交通指導 ・防災・防犯 ・遺失物・諸届 【生徒会】 ・学校祭 ・部活動 ・学校行事・ボランティア ・会計 	生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・渉外 ・交通安全指導（自転車、自動車学校） ・風紀関係指導 ・拾得・紛失物 ・アルバイト関係 ・制服等販売
		生徒会 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員指導 ・体育部・文化部 ・JRC ・聖陵祭（体育祭・文化祭） ・会計 ・活動成績 ・家庭クラブ ・ひまわりプロジェクト

杵島地区新高校	現高校	
	白石高校	杵島商業高校
進路指導	進路指導 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営 ・資料・統計 ・特課・土曜講座・模試 ・生徒閲覧室・資料配布・掲示 ・小論文指導 ・会計・庶務・記録 ・就職関係・既卒者就職相談 ・学力向上対策・シラバス ・キャリア教育事業 	進路指導 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・立案 ・就職指導 ・進学指導 ・公務員指導 ・特課計画・指導 ・調査・統計・広報 ・進路システム管理 ・成績処理 ・各種模試 ・庶務・会計 ・既卒者就職相談
保健指導	保健指導 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営 ・安全点検・美化清掃・環境衛生 ・健康管理・健康相談 ・日本スポーツ振興センター ・生徒保健委員会 ・教育相談 ・特別支援教育 ・食育指導 	保健指導 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・渉外・健康 ・安全教育 ・環境・美化 ・日本スポーツ振興センター ・調査・統計 ・教育相談 ・特別支援 ・食育推進
企画部（仮称）	総務 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価 ・研修 ・人権・同和教育 ・広報・卒業アルバム ・ホームページ管理 情報機器管理	情報管理 <ul style="list-style-type: none"> ・情報管理・校内 LAN ・学校ホームページ・パンフレット ・ICT 利活用推進 ・記録（写真撮影）
事務部	事務部	事務部
	学校評議員 同窓会 新高校設置準備委員会 100周年準備委員会	学校評議員 同窓会

3 各種委員会

【検討の進め方】

委員会の数は多くても、委員会開催が少なければ負担は軽いと思われる。急に必要になって年度途中で新たに設置するよりも、今の委員会を維持する方向で検討し、必要に応じて整理する。

【H28年度の状況】

各種委員会

白石高校	人数	杵島商業高校	人数
運営委員会	15	運営委員会	14
学力向上対策委員会	13	学校活性化委員会	9
ホームルーム委員会	9	カリキュラム委員会	13
カリキュラム委員会	12	学力向上対策委員会	13
人権・同和教育推進委員会	6	学校保健安全委員会	17
進路指導委員会	16	生徒指導委員会	11
図書委員会	9	クラブ活動振興委員会	6
生徒指導委員会	8	HR活動委員会	8
学校保健安全委員会 (食育推進委員会)	17	図書館運営委員会 (朝読書委員会兼任)	11
購買委員会	4	人権・同和教育委員会	10
施設委員会	6	教育相談委員会 特別支援教育委員会	8
転入考査委員会	8	拡大教育相談委員会 障害者差別解消委員会	8
教育相談委員会 (特別支援教育委員会)	10	総合的な学習の時間委員会	9
小論文委員会 (推薦・AO対策委員会)	9	教務規定委員会	7
衛生委員会	9	情報管理委員会 (学校教育情報化推進委員会を統合)	11
単位認定審査会	14	学校評価委員会	11
部活動講演会	7	衛生委員会	8
総合的な学習の時間(キャリア教育)推進委員会	9	業者選定委員会	3+ α
ICT利活用推進委員会	6	佐賀県立杵島商業高等学校競争入札資格委員会	3
いじめ・体罰等対策委員会	11	新高校校内検討委員会	3+ α
新高校設置準備委員会	13	国際交流委員会	5
100周年準備委員会	11	いじめ・体罰等対策委員会	4+ α
修学旅行検討委員会	7		
主権者教育推進委員会	5		
障害者差別解消推進委員会	9		

4 部活動

【検討の進め方】

- ・現在活動している部活動は、原則そのまま維持する方向で検討する。
- ・再編初年度（平成 30 年度）は旧高校の 2・3 年生もいることから、各校舎での活動が主であると考えられる。
- ・ただし、テニス、ソフトテニス、卓球、剣道、弓道、ブラスバンド等は、現在一方の高校にのみ設置されているので、再編後は生徒移動の必要性が生じるため、バス等の移動手段も含めて検討していく

部活動

※網掛けはH28年度の特徴選抜B方式の指定競技

白石高校	H28年度 部員数	杵島商業高校	H28年度 部員数	H30年度 活動場所(案)
野球	44	野球	37	各校
陸上競技	38	陸上競技	14	各校(試合前は白石)
バレーボール女子	16	バレーボール女子	10	各校
バスケットボール男子	21	バスケットボール男子	24	各校
バスケットボール女子	23	バスケットボール女子	17	各校
バレーボール男子	0			白石高校
テニス男子	22			白石高校
テニス女子	24			白石高校
		ソフトテニス男子	13	杵島商業高校
		ソフトテニス女子	12	杵島商業高校
		卓球	18	杵島商業高校
サッカー	45			白石高校
		ボクシング	6	杵島商業高校
		柔道	5	杵島商業高校
剣道	34			白石高校
弓道	41			白石高校
新聞	2	新聞	17	各校
文芸・図書	1			白石高校
科学	13			白石高校
		ビジネススキル	4	杵島商業高校
		情報処理	34	杵島商業高校
		英会話	2	杵島商業高校
美術	17	美術	5	各校
音楽	10			白石高校？
		ブラスバンド	13	杵島商業高校？
家政	19			白石高校
茶道	6	茶道	4	各校
JRC	11			白石高校
放送	6	放送	5	各校
書道	8			白石高校

6 学校行事

【検討の進め方】

・再編の完成年度（平成 32 年度）に向けて合同行事を増やしていく方向で検討。合同行事が増えれば、生徒の移動に係るバスの費用等が必要となる。

月	白石高校	杵島商業	H30	H31	H32	備考
4月	退任式・始業式	退任式・始業式				校長挨拶
	新任式	新任式				校長挨拶
	入学式	入学式	合同	合同	合同	
	1年生宿泊研修(波戸岬)	1年生宿泊研修(北山)				
	開校記念遠足(歌垣)	開校記念登山(鬼の鼻山)				両校の開校記念
5月	PTA総会	PTA総会			合同?	新高校のPTA組織
	中間考査	中間考査				同日がよい
6月	県模試	県就職模試				
	期末考査	期末考査				同日がよい
7月	クラスマッチ	クラスマッチ				
	三者面談	三者面談				
	終業式	終業式				同日
	夏期特課(全学年)	夏期特課(3年+情報処理科)				
8月	体験入学	体験入学				別日がよい
	夏期特課(全学年)	夏期特課(3年)				
	始業式	始業式				体育祭との関係
9月	文化祭(白高祭)				合同?	
	体育祭(白高祭)	体育祭(聖陵祭)			合同?	生徒会と相談
		生徒会長選挙				校舎ごとに1名
10月	中間考査(1・2年)	中間考査(全学年)				同日がよい
	3年学年末考査					
		文化祭(聖陵祭)			合同?	
11月		芸術鑑賞	合同	合同	合同	
	期末考査(1・2年)	期末考査(全学年)				同日がよい
12月	クラスマッチ(1・2年)	クラスマッチ(全学年)				
	三者面談	三者面談				
	終業式	終業式				同日
	冬期特課(全学年)	冬期特課(1・2年)				
1月	冬期特課(全学年)					
	始業式	始業式				同日
	センター試験	全商簿記・情報処理検定				
	2年修学旅行(東京・長野)	2年修学旅行(東京・新潟)				
2月		杵の会(卒業前の餅つき会)				
	3年授業最終日	3年授業最終日				
	学年末考査(1・2年)	学年末考査(1・2年)				同日がよい
	同窓会入会式	同窓会入会式				新高校の入会式
3月	卒業式	卒業式				新高校の卒業式

7 その他

1 会議

【検討進め方】

会議の種類とそのやりかたの整理

(1) 会議の種類

職員会議（全体会 校舎単位）

運営委員会

学年会

教科会議

衛生委員会

いじめ・体罰等対策委員会

生徒指導委員会

各種推薦会議（進学、就職、奨学金）

(2) 会議のやりかた

- ・ 職員が移動（出張扱い）
- ・ ICT利活用して会議
カメラ、電子黒板等を用いたTV会議

2 施設・設備

【検討の進め方】

再編時に必要なもの（校名板、校章、校旗等）について検討する。

8 校内検討スケジュール

7月20日(水) 15:30～校務分掌主任・副主任会議(杵島商業高校)

- ・ 両校の校務分掌業務の整理
- ・ 新高校の各分掌の学校運営計画等

7月21日(木) 作業部会(白石高校)

- ・ 第7回新高校設置準備委員会の準備
- ・ その他

7月27日(水) 第7回新高校設置準備委員会(清明会館)

- ・ 新高校の教育内容等に係る検討の進捗状況報告
- ・ 校名検討の進捗状況報告
- ・ その他

7月末～8月 校務分掌主任・副主任会(複数回)

- ・ 新高校の各校務分掌の学校運営計画等の検討

時期未定 作業部会(白石高校)

- ・ 第8回新高校設置準備委員会の準備

8月末 第8回新高校設置準備委員会(清明会館)

- ・ 新高校の長期経営計画、学校運営計画等に係る原案の検討
- ・ 校名等検討状況報告
- ・ その他

時期未定 両校打ち合わせや作業部会(回数は未定)

10月(予定) 第9回新高校設置準備委員会(清明会館)

- ・ 杵島地区新高校再編整備実施計画原案の検討

《参考1》

複数校合同チームによる大会参加について

【全国高等学校総合体育大会】

「複数校合同チームによる大会への参加についての考え方」(全国高等学校体育連盟事務局)

- 1 部員不足に伴う複数校合同チームの大会参加について
 - (1) 全国高等学校総合体育大会は学校対抗制を原則としている。したがって、各学校を単位として大会に参加することが要件となるため、部員不足に伴う合同チームの参加は認めない。
 - (2) 各都道府県高体連及び専門部においては、各都道府県の大会等の参加に関する基準等を検討し、実施可能な専門部から合同チームが成果を発揮できる場を設けるよう努力する。その際、合同チームの編成が勝利至上主義的発想で行われることのないよう十分留意する。
- 2 学校の統廃合(設置者による学校の廃止及び廃止を伴う複数校の学校の統合で、募集停止を伴うものをいう、以下同じ)に伴う複数校合同チームの大会参加について
 - (1) 学校の統廃合は行政を含む設置者によるものであるので、当該校に在籍する生徒の活動を保障するために統廃合完了前の2年間に限り合同チームを組んで全国高等学校総合体育大会に参加することを認める。
 - (2) 統廃合の予定があっても合同チームを編成せず、単独チームで出場することもできる。これについては学校毎ではなく、部活動ごとに取り扱うものとする。
 - (3) 同一競技において、選手が単独チームと合同チームの両方から大会に出場することはできない。
平成14年3月9日より施行
平成19年3月3日 改正
平成25年5月21日 一部改正「募集停止を伴うもの」追記

【佐賀県高等学校総合体育大会】

「平成27年度 佐賀県高等学校総合体育大会 開催基準要項」

- 9 大会参加
 - (1) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

佐賀県高等学校体育連盟では、合同チームによる大会参加に係る規定の詳細を、統廃合や再編対象校ごとに、平成28年度に検討することとしている。(大会参加に係る規定の詳細とは、申告期日等の手続き等に係る内容であり、規定については、全国高体連の規定に準ずることに変わりはない)

【日本高等学校野球連盟】

日本高等学校野球連盟からの諸通達

- 1 「統廃合による大会参加の特別措置について」(平成9年5月23日通達)
 - (1) 連合チームでの大会参加
 - ア 統廃合の対象となる関係校であれば、2校以上の連合チームでの大会参加を認める。
(地区大会および全国大会を含む)
 - イ 連合チームは関係校であれば、そのうちの組合せはいつでもよく、2チームに分かれて参加することもできる。適合のチームの組合せ上、人数による制限はしない。(例えば10人以上の場合は単独でなければならないなど)
- 2 「廃校となる野球部の取扱い」(平成12年6月7日通達)
 - (1) 救済措置の対象となる学校
廃校となることが決定し、生徒募集が打ち切られた学校(分校も含む)で、次の条件下にある者は対象とする。
 - ア 在校生が2学年以下しかない場合
 - イ 登録部員数のうち、試合出場が可能な選手が9人以下となる場合
 - (2) 近隣校の協力
 - ア 廃校となる学校は、同一市町村内または近隣の市町村にある高等学校の協力により、野球部員の派遣を受け、自校の選手として所属連盟に登録、大会に参加することができる。
 - イ 近隣校は、原則として合同練習に通常の交通機関を利用して通える範囲とする。など
- 3 「部員不足による大会参加の特別措置について」(平成24年5月24日通達)
 - (1) 部員不足の連合チームでの大会参加
 - ア 原則として部員数が不足している(8人以下)2校以上の連合チームでの大会参加を認める。(地区大会および全国大会を含む)
 - イ 関係校間の距離は問わないが、同一都道府県内の加盟校同士に限定し、原則として週2回程度の合同練習ができることが望ましい。
 - ウ 適当な相手校が無いなどの理由で連合チームが組めない部員不足校には、単独廃校のルール(平成12.6.7通達文)を適用することも可能とする。
ただし、母体となる部員数不足校の部員は最低5人は在籍しているものとし、他校からの部員を借り入れた後の当該校の部員数は10人を超えないこととする。 など

【全国高等学校総合文化祭】

複数校の合同チームとして参加している。

全日本吹奏楽連盟

【全日本吹奏楽コンクール】

「全日本吹奏楽コンクール実施規定」

第7条 各部門の参加資格は次のとおりとする。ただし、同一人が二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。なお、年齢については問わない。
高等学校の部
同一高等学校に在籍している生徒とする。

【全日本マーチングコンテスト】 全日本吹奏楽コンクール実施規定と同一

【全日本アンサンブルコンテスト】 全日本吹奏楽コンクール実施規定と同一

規定では上記のようになっているが、九州吹奏楽連盟においては、再編校について、連合チーム又は旧高校・新高校別の何れかの形での参加を認めており、佐賀県吹奏楽連盟も同様の運用となる。(全日本吹奏楽連盟は、九州・佐賀県の下位連盟の決定に従うとしている H28.3.15 聴き取り)

全日本合唱連盟

【全日本合唱コンクール】

全日本合唱コンクール全国大会開催規定（平成25年2月17日改訂版）

第3章 出演資格

(各部門の出演合唱団資格)

第12条 各部門の出演合唱団の資格は次のとおりとする。

(2) 高等学校部門

同一高等学校に在籍する生徒で編成する合唱団。

複数高等学校の生徒で編成する合同合唱団で、常時活動し、当該正会員連盟の理事長及び支部長が認めた合唱団。

同一の中高一貫校に在籍する生徒で編成する合唱団。ただし、中高一貫校として出場する中学生は規定上高校生として扱う

同一高等学校内から複数の合唱団が出演できる。

出演団体は同一種別（混声、男声、女声）に1回に限り出演できる。

《参考2》

教職員配置について

高校標準法に基づく教頭（副校長）・養護教諭の配置

	H30	H31	H32
教頭	2	1	1
養護教諭	2	2	1

各校舎への配置例

A 校舎（校長 1、教頭 1、養護教諭 1）

B 校舎（副校長（教頭） 1、養護教諭 1）

【課題】

高校標準法に基づけば、平成 31 年度には教頭（副校長）が 1 人しか配置できない。
また、平成 32 年度（完成年度）には教頭（副校長）が 1 人、養護教諭が 1 人しか配置できず、一方の校舎にしか置くことができない。

実際には、養護教諭が常駐しない校地（校舎）は考えられないため、配置されない校地（校舎）の養護教諭については、教員数から切り崩して充てなければならない。

校名募集状況

1 校名検討のスケジュール



2 校名募集（公募）のスケジュール

2016/6/9

校名公募に係るスケジュール

		7月							8月																										
月	日	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
曜日		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
業務		教育委員会勉強会（説明）	設置準備委員会委員への連絡			校名公募プレスリリース	応募用紙配布（市町等）		公募開始																										

杵島地区新高校に係る校名募集要項

佐賀県教育委員会

佐賀県立白石高等学校と佐賀県立杵島商業高等学校を再編統合し、平成30年4月に開校する杵島地区新高校の校名を募集します。

1 新高校の概要

(1) めざす学校像

夢を育み、夢の実現へ邁進する学校
知・徳・体の調和のとれた、健全な人格の形成をめざす学校
地域に愛され、信頼される学校
グローバル化に対応できる力を養成する学校

- (2) 設置学科 普通科、商業科(商業系学科・情報系学科)
- (3) 設置場所 現在の白石高等学校及び杵島商業高等学校校地
(当面、校舎制として両校地を使用)
- (4) 開校時期 平成30年4月

2 募集内容

- (1) 新高校の校名
- (2) その校名とした理由
- (3) 校名応募の留意点
以下の3点に留意した校名案としてください。

- ・ めざす学校像や、学校の歴史的あるいは地理的背景などを考慮した名称とする。
- ・ 比較的平易に読み、親しみやすい名称とする。
- ・ 県内外の学校と紛らわしくない名称とする。

応募者本人が考えたものであり、他者の著作権などの権利を一切侵害しないものに限ります。
公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むものは応募できません。

3 募集期間

平成28年7月7日(木)から平成28年8月15日(月)まで(郵送の場合、締切当日の消印有効)

4 応募資格

どなたでも応募できます。

5 応募方法

以下の(1)～(3)の何れかによる応募とします。(電話による応募は受け付けません)

- (1) 郵送・FAXによる応募(応募用紙を使用してください)
- (2) はがき(はがきに下記必要事項～の内容を記入してください)
- (3) 電子メール(メール本文に下記必要事項～の内容を記入してください。なお、件名を【杵島地区新高校名応募】としてください)

【必要事項】

以下の ~ の項目についてお答えください。

新高校の校名（漢字の場合はふりがなも記入してください）

その校名とした理由

住所（都道府県・市町村）・氏名

年齢（小中高生の場合は学年も記入してください）

性別

所属等（小学生、中学生、高校生、白石・杵島商業生徒、白石・杵島商業同窓会員、白石・杵島商業職員、白石・杵島商業保護者、一般など）

【応募にあたっての注意事項】

- ・ 応募した時点でこの募集要項に同意したものとします。
- ・ この公募は校名の案を募集するものであり、応募数の多少により校名を決定するものではありません。
- ・ 一人あたりの応募数の制限は設けませんが、一人の方が同一の校名案で複数応募することはできません。
- ・ 一回の応募にあたって記入できるのは1つの校名案のみです。
- ・ 応募された校名案については、そのまま採用せずに一部を使用したり、他の案と合成したりする場合があります。
- ・ 応募にかかる費用は、応募者の負担とします。なお、ご応募いただいたはがきなどは返却しません。
- ・ ご記入いただいた個人情報は、佐賀県個人情報保護条例に基づき、適正に管理します。

(4) 応募先

【郵送・はがき】 〒 840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 教育総務課県立高校再編整備推進室
〒 849-1101 佐賀県杵島郡白石町大字今泉138番地1 白石高校
〒 849-2101 佐賀県杵島郡大町町大字大町2039番地 杵島商業高校

【FAX 番号】0952-25-7419（佐賀県教育庁教育総務課県立高校再編整備推進室）

【電子メール】 kyouiku-saihen@pref.saga.lg.jp（佐賀県教育庁教育総務課県立高校再編整備推進室）

6 選定方法

応募された校名案及び選定理由を参考として、佐賀県教育委員会において選定します。

7 結果の公表

決定された校名については、佐賀県教育委員会ホームページ等で公表する予定です。

8 その他

決定された名称に関する一切の権利は佐賀県教育委員会に帰属するものとします。

9 問い合わせ先

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号
佐賀県教育庁 教育総務課 県立高校再編整備推進室
電話：0952-25-7424（平日9:00～17:00）
電子メール：kyouiku-saihen@pref.saga.lg.jp

4 配布先・枚数

○ 校名公募用応募用紙配布先・枚数

配布先	地区						
	鹿島地区		杵島地区		嬉野地区		
	配布先(個別)	配布枚数(枚)	配布先(個別)	配布枚数(枚)	配布先(個別)	配布枚数(枚)	
地元中学校 (志願者数に応じた枚数を配布)	西部	300	武雄	150	嬉野	180	
	塩田	150	白石	120	塩田	150	
	東部	150	大町(ひじり学園)	90	西部	120	
	嬉野	120	北方	60	武雄	120	
	白石	60	牛津	60	東部	90	
	有明	60	西部	60	山内	60	
	多良	60	山内	60	吉田	50	
	大浦	60	福富	60	川登	50	
				江北	50	大野原	20
				有明	50		
	計	960	計	760	計	840	
市町役場	鹿島市役所	200	白石町役場	200	嬉野市役所	100	
	嬉野市役所	100	大町町役場	100	(塩田庁舎)	100	
	(塩田庁舎)	100	江北町役場	100	鹿島市役所	100	
	白石町役場	100	武雄市役所	100	武雄市役所	100	
	太良町役場	100					
	計	600	計	500	計	400	
公共施設等	エイブル	200	福富公民館	100	楠風館	100	
	(生涯学習センター、市民会館、市民図書館)		大町町公民館	100	嬉野公民館	100	
			ふれあい交流センター ナイブル	100			
			有明公民館	100			
	計	200	計	400	計	200	
県立施設等	元気ひろば	100	元気ひろば	100	元気ひろば	100	
	国際交流プラザ	100	国際交流プラザ	100	国際交流プラザ	100	
	計	200	計	200	計	200	
当該校※	鹿島高校生徒	600	白石高校生徒	480	塩田工業高校生徒	360	
	鹿島実業高校生徒	360	杵島商業高校生徒	360	嬉野高校生徒	360	
	鹿島高校保護者	600	白石高校保護者	480	塩田工業高校保護者	360	
	鹿島実業高校保護者	360	杵島商業高校保護者	360	嬉野高校保護者	360	
		計	1,920	計	1,680	計	1,440
総計(当該校除)		1,960		1,860		1,640	
総計(当該校含)		3,880		3,540		3,080	
						5,460	
						10,500	

※当該校を除く応募用紙の印刷は、県立高校再編整備推進室で行う。

○ 校名公募に係る通知先

<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町教育委員会教育長 ・ 各私立中学校長 ・ 佐賀大学文化教育学部附属中学校長 ・ 佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校長 ・ 各教育事務所長 ・ 各県立学校長 <p style="text-align: center;">7月4日(月) 予定のプレスリリース後、SEI-netにより通知</p>
--

5 第1回杵島地区新高校校名検討委員会について

(1) 委員構成

校名検討委員会委員構成（第6回設置準備委員会で承認）

No	委員構成（案）
1	関係校校長（2人）
2	関係市町教育長
3	市町関係者
4	関係校同窓会代表（2人）
5	関係校PTA代表（2人）
6	地元中学校校長
7	県教育委員会代表

県教委の各課室からの委員を除けば、現在行っている新高校設置準備委員会と校名検討委員会の委員構成はほぼ同じであるため、現在の設置準備委員会をベースに、県教委からは代表2名のみでの参加（県立高校再編整備推進室長、同教育企画監）とし、校名検討委員会は新高校設置準備委員会と併せて実施することが考えられる。

【参考】新高校設置準備委員会委員構成

No	委員構成
1	関係校校長（2人）
2	関係校教頭（2人）
3	関係市町教育長（1～4人）
4	市町関係者（1～2人）
5	関係校同窓会代表（2人）
6	関係校PTA代表（2人）
7	地元中学校校長（1～2人）
8	県教委各課室（8人）

校名検討委員会の構成としては、再編対象校の校長及び職員、同窓会関係やPTA関係、また、該当市町の首長や教育長、さらには地元中学校の校長等が考えられ、これに教育庁の関係課を加え、様々な視点から協議を重ねるとともに、有識者及び地元関係者への意見聴取を行うことによって、候補を絞り込んでいく必要がある。

最終的には、校名検討委員会のそれまでの検討結果を踏まえ、教育委員会で校名を決定し、県議会において条例を改正する。（平成29年2月議会を予定）

(2) 校名検討委員会委員構成(案)

No	所属・職名	氏名	備考		
1	白石高等学校 校長	徳廣 正毅	学校関係者		
2	杵島商業高等学校 校長	大塚 政文	学校関係者		
3	大町町教育長	船木 幸博	大町市	市町関係者	
4	大町町生活環境課長	小木 誠			
5	白石町教育長	北村 喜久次	白石町		
6	白石町副町長	百武 和義			
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市		
8	江北町教育長	赤坂 章	江北町		
9	白石高等学校 同窓会代表	川崎 光春	地元関係者		
10	杵島商業高等学校 同窓会代表	黒岩 勝弘			
11	白石高等学校 PTA代表	溝口 哲也			
12	杵島商業高等学校 PTA代表	田中 浩吉			
13	白石町立白石中学校 校長	平川 年明	中学校関係者		
14	武雄市立川登中学校 校長	植松 和彦			
15	県立高校再編整備推進室 室長	原 和弘	県教委関係者		
16	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰			
事務局	白石高等学校 教頭	上赤 真澄	事務局		
	杵島商業高等学校 教頭	深町 俊善			
	白石高等学校 教諭	本村 邦彦 副島 博孝			
	杵島商業高等学校 教諭	松浦 昌彦 中村 桂子			
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司			
	県立高校再編整備推進室 企画主査	椛島 秀樹			

(3) 第 1 回杵島地区新高校校名検討委員会日程 (案)

日時： 平成 28 年 8 月 29 日 (月) 13 : 30 ~ 14 : 30

場所： 白石高校同窓会館 (清明会館)

議題：

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 協議
 - ・ 校名検討の進め方
 - ・ 有識者への意見聴取について (有識者の人選等)
 - ・ 校名候補案選定の基本的な考え方
 - ・ 校名候補案の検討
 - ・ その他
- 5 次回の日程等
- 6 閉会

第 8 回設置準備委員会も同時開催するため、13 : 30 ~ 15 : 30 の 2 時間を予定している。

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

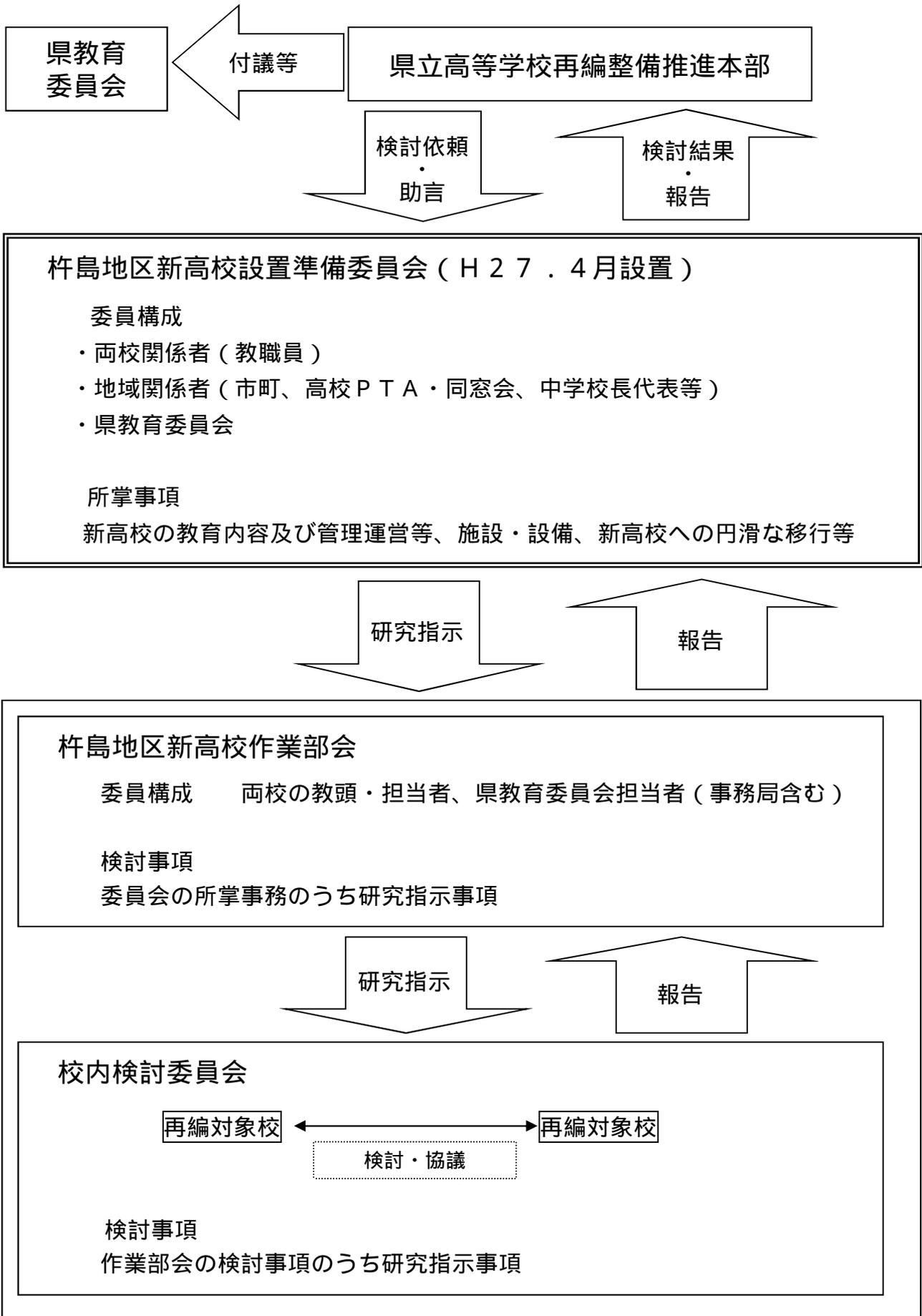
(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

資料5 杵島地区新高校設置に向けた検討体制



別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

資料6 杵島地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	白石高等学校学校校長	徳廣 正毅	委員長・学校関係者	
2	杵島商業高等学校校長	大塚 政文	副委員長・学校関係者	
3	白石高等学校教頭	上赤 真澄	学校関係者	
4	杵島商業高等学校教頭	深町 俊善		
5	大町町教育長	船木 幸博	大町町	市町関係者
6	大町町生活環境課長	小木 誠		
7	白石町教育長	北村 喜久次	白石町	
8	白石町副町長	百武 和義		
9	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市	地元関係者
10	江北町教育長	赤坂 章	江北町	
11	白石高等学校 同窓会代表	川崎 光春		
12	杵島商業高等学校 同窓会代表	黒岩 勝弘		
13	白石高等学校 P T A代表	溝口 哲也		
14	杵島商業高等学校 P T A代表	田中 浩吉		
15	白石町立白石中学校校長	平川 年明	中学校関係者	
16	武雄市立川登中学校校長	植松 和彦		
17	教育総務課長	源五郎丸 靖	県教委関係者	
18	教育振興課長	五反田 進		
19	教育情報課長	碓 浩一		
20	教職員課長	福地 昌平		
21	学校教育課長	松尾 敏実		
22	保健体育課長	吉松 幸宏		
23	県立高校再編整備推進室長	原 和弘		
24	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	白石高等学校教諭	本村 邦彦		
		副島 博孝		
	杵島商業高等学校教諭	松浦 昌彦		
		中村 桂子		
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司		
県立高校再編整備推進室 企画主査	椛島 秀樹			